

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

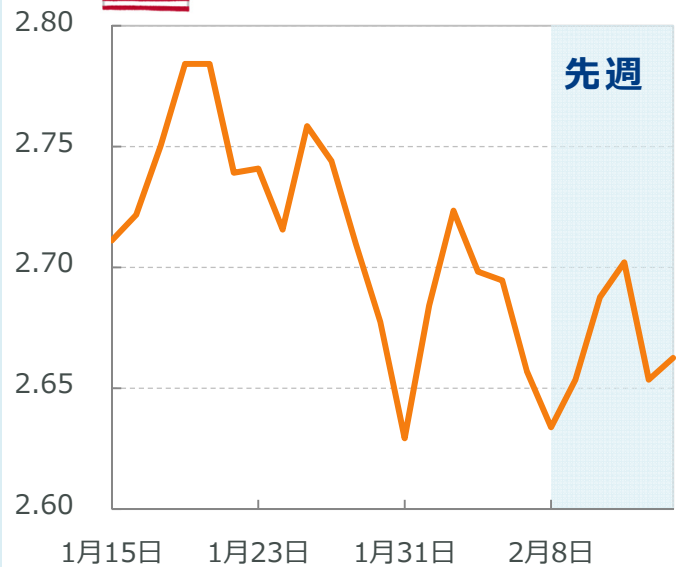
※データ期間は2019年1月15日から2019年2月15日（日次）

【2019年2月11日～2019年2月15日】

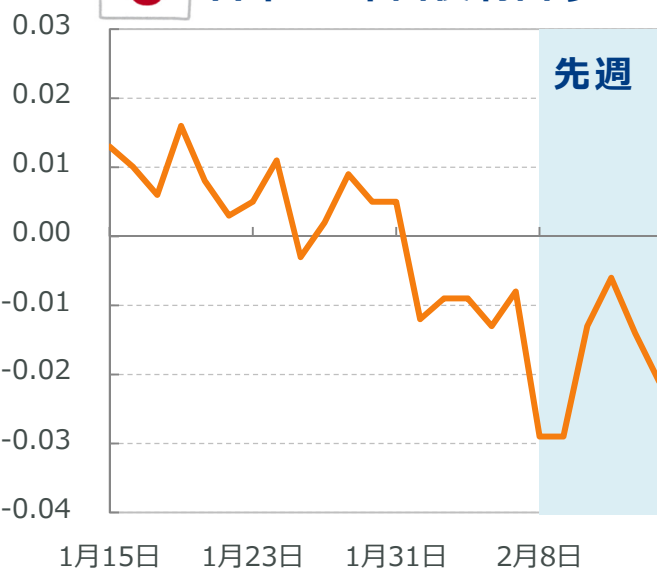
日米国債利回りは上昇

- ◆米中貿易協議を巡りトランプ米大統領が楽観的見解を示したことや米政府機関の閉鎖が回避されたことなどを背景に、米国株高・債券安となりました。
- ◆日本株も連れ高となり、日本国債は短期筋からの利益確定売りが出るなどの動きが見られました。
- ◆ブレグジットに関する先行き不透明感や、軟調な独経済指標などを背景に、ECB（欧州中央銀行）が数ヶ月以内に新たな景気刺激策を実施するとの見方が強まり、欧州では債券高となりました（利回りは低下）。

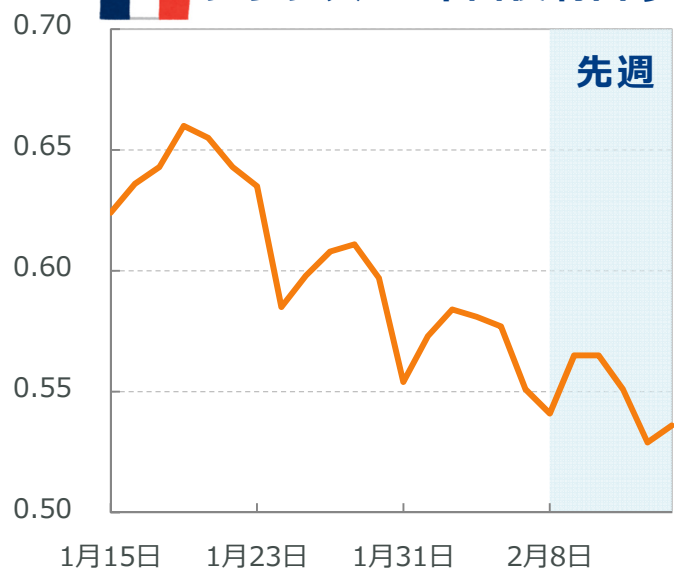
(%) 米国10年国債利回り



(%) 日本10年国債利回り



(%) フランス10年国債利回り



出所：Bloomberg 1/2

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみざん

大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

※データ期間は2019年1月15日から2019年2月15日（日次）

【2019年2月11日～2019年2月15日】

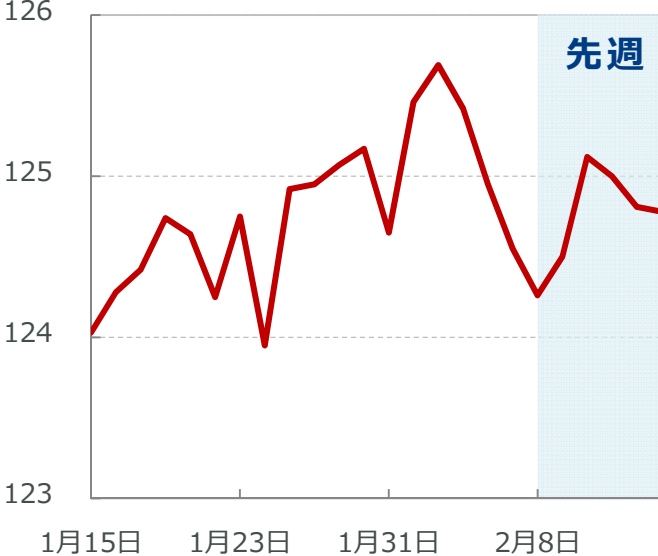
円が全面安

- ◆米中貿易交渉が合意に向けて進展したことなどを背景に投資家のリスクセンチメントが改善し、円を売る動きが強まりました。円は、一時1米ドル=111円台まで円安が進み、主要通貨に対して下落して推移しました。
- ◆春節休暇明け（11日）に中国株が上昇したことや鉄鉱石の先物価格上昇を好感し豪ドル買いが進んだことも、円が対豪ドルで下落する要因となりました。

(円)  **米ドル円**



(円)  **ユーロ円**



(円)  **豪ドル円**



出所：Bloomberg **2/2**

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会